## 地域ステークホルダーとの連携を重視した知財の取組を支援します ~令和7年度「中小企業等知的財産支援事業」の交付先について~

各経済産業局及び内閣府沖縄総合事務局の知的財産室では、地域の知財支援体制の構築や連携強化を通じた知 財支援力の向上を図るため、地域の先導的・先進的な知財の取組を支援する「中小企業等知的財産支援事業」を 実施しています。(補助金名:中小企業等知的財産支援地域連携促進事業費補助金)

今年度は以下の17件に交付決定いたしました。

特許庁及び知的財産室では地域における知財施策の拡充及び先導的・先進的な知財支援を定着させる取組を伴走型で支援すること等を通じ、地域の活性化を図ります。

〈中小企業等知的財産支援地域連携促進事業費補助金 採択一覧(17件)〉

局名	事業名	事業者	法人番号	概要
北海道	地域産品のブラン	公益財団法人は	9430005010380	本事業では、地域団体商標/GI 等の
	ドカ認知・強化の	まなす財団		知財を活用しながら地域活性化に取り
	ための「地域団体			組む団体同士や、その商流及び消費
	商標/GI」等知財			者の接点にあるサービス事業者をつな
	活用加速化事業			ぎ、1 次、2 次、3 次産業が一体となって
				地域活性化に取り組むプラットフォーム
				(基盤)を構築し、地域産品のブランド
				カ認知・強化に向けた取組支援を道内
				に定着させる。バイヤーや流通業など
				の「繋ぎ手」向けの知財セミナー、「届け
				手」「繋ぎ手」に伝える場への出展、「作
				り手」「繋ぎ手」「届け手」が交流する
				WS、情報提供プラットフォームの構築
				等を行う。
北海道	地域に根ざした知	一般社団法人あ	2450005004412	本事業では、知財、デザイン経営、生
	的財産活用支援	さひかわ地域創		成 AI、文化人類学のスキルを有した実
	制度の構築事業	造デザイン局		践型人材「AID(Advanced In town
				Designer)」を育成し、知財を未だ意識し
				たことのない地域中小企業に寄り添い
				ながら地域に根ざした身近な存在とし
				て、デザイン経営の考え方に生成 AI と
				文化人類学を融合したリサーチカを企
				業に投じながら、新しいモデルの支援
				制度を構築、導入、定着させる。AID の
				育成と、AID 及び地域ステークホルダー
				による地域中小企業に対する伴走支援
				を通じた支援モデルの構築を行う。
東北	デザインを入口と	公益財団法人あ	2410005005439	本事業では、事業推進上必須かつ身近
	した知財リテラシ	きた企業活性化		な業務課題であるデザイン(パッケー
	一向上事業	センター		ジ・PR など)課題解決の一歩となる、デ

	T			
				ザイナー紹介イベントを入り口とした興
				味喚起を行い、知的財産リテラシーの
				不足している事業者の能動的な行動を
				誘発。来場し、デザイン課題解決の糸
				口が見えた事業者に対し、デザインを
				経営資源とする場合、知財リテラシー
				は必要不可欠であることを伝えるセミナ
				一を開催。これにより、自分事として知
				財リテラシー獲得に取り組む姿勢が醸
				成される。合わせて、知財相談ブースを
				設置し、窓口の活用を促進する。
関東	知財でつなぐ地域	協栄信用組合	9110005006155	本事業では、地域に眠る技術・知的財
	企業支援モデル			産を活用し、地元中小企業と大手企
	構築事業			業・研究機関とのマッチングを促進する
				ことにより、新たなビジネス創出と地域
				産業の高度化を目指すものである。連
				携体制の構築や地域課題等の情報共
				有等の実施、職員への研修、中小企業
				向けの知財セミナーやシーズ紹介企業
				との個別相談会の実施、個別支援、シ
				ーズ紹介特設サイトの設置等を実施す
				る。
関東	知財創出支援人	長野證券株式会	6100001000553	本事業では、地方証券会社として、知
	材育成と長野サス	社		財創出と資金調達のハブ機能を果た
	テナブル投資育			し、地域社会に貢献することを目指す。
	成モデル構築事			知財創出勉強会、企業ヒアリングの実
	業			践、知財及び経営に関する相談会の開
				催、地域金融機関等を対象とした報告
				会等を実施する。
中部	三重県内中小企	株式会社三重テ	1190001001721	本事業では、三重県内の中小企業のた
	業のための「知財	ィーエルオー		めの「知財保護・活用」の啓発と「技術
	保護・活用」の啓			相談会」を実施する。「啓発活動」では、
	発と「技術相談			知的財産創出の鍵となる研究開発、成
	会」			果の知財化、知財の活用の3段階につ
				いての理解を進めるために知財セミナ
				一を系統立てて行う。また、「技術相談
				会(個別案件への対応)」では、四日市
				市、津市、伊勢市において、技術相談
				会を実施し、知財保護・活用について
				技術指導を行う。
中部	地銀による知的財	株式会社百五銀	5190001000892	本事業では、株式会社百五銀行が自
	産活用支援を通じ	行		立的かつ持続的に、地域企業の無形

トルリング	活性化と自			資産(知的財産等)を活用した成長支
立的3	援体制の			援に取り組む体制を確立することを目
構築				的とし、行員が専門家と連携しながら取
				引先企業への伴走支援を実施し、開放
				特許・技術シーズを活用したビジネスマ
				ッチングを推進することで、知的財産を
				核とした成長支援モデルを構築する。さ
				らに、愛知県など先進地域との連携に
				より先進事例を取り入れながら、地域
				の支援力と産業競争力の底上げを図
				る。
中部「共創	・協働・あい	株式会社あいち	8180001036373	本事業では、開放特許を起点とした知
ちざい	活用」モデ	銀行		財活用支援を通じて、地域中小企業の
ル拡引	プロジェク			新製品開発や新事業創出を促進し、地
\rangle \tau \sigma	也域知財共			域経済の活性化につなげることを目的
創ネッ	トワークの			とし、地域金融機関であるあいち銀行
構築へ	.~			がハブとなり自治体、大学、メディア、ス
				タートアップ支援拠点等と連携し、知的
				財産を中心とした「地域連携型支援モ
				デル」の確立を図る。さらに、セミナー・
				個別支援・情報発信・スタートアップ連
				携といった多面的なアプローチを通じ
				て、中小企業が実際に知財を「使いこな
				す」段階まで伴走支援する体制を構築
				する。
近畿 特許情	報を活用し	一般社団法人う	6120005023193	本事業では、特許庁が実施した「令和6
たスタ	ートアップ	めきた未来イノベ		年度神戸市知財経営支援モデル地域
等オー	プンイノベ	ーション機構		創出事業」で有効性が実証された特許
ーション	/支援事業			情報の活用を起点とし、先進的な技術
				シーズを有する企業に対し連携ニーズ
				の把握ヒアリング、ターゲット企業の特
				許情報分析、連携提案書の作成などの
				連携相手探索と提案手法のスキームを
				近畿において実装し、地域の産業支援
				機関としてスタートアップのオープンイノ
				ベーション支援モデルの構築・定着を目
				指す。
近畿 京都知	即東携プ	京都中央信用金	8130005004513	本事業では、金融機関が地域中小企
ロジェ	ケト ~地域	庫		業の課題を起点に、知的財産(特に開
	I	l l		
企業の	知財活用			放特許)を活用した課題解決と新事業

				Ţ
				点の知財活用支援モデル」を構築・展
				開する。
				中小企業における知的財産の活用を
				通じて新たな価値創出や競争力向上を
				促進させるため、企業が自らの保有技
				術や外部の開放特許を活用し、製品開
				発・サービス開発・販路開拓に展開でき
				るよう、知財活用の「見える化」「出会い
				の創出」「実用化の伴走支援」を一体的
				に提供する知的財産を起点としたマッ
				チング支援体制を構築する。
近畿	共創型デザイン経	奈良商工会議所	6150005000909	本事業では、奈良市が令和 3 年度より
	営エコシステム構			   継続的に取り組んできたデザイン経営
	築事業			の普及・啓発・伴走支援の成果を基盤
				とし、市内中小企業等におけるデザイ
				ン経営の導入に向けた機運醸成と、伴
				走支援を行うパートナーとのマッチング
				支援を起点とし、ワークショップを通じ新
				たにデザイン経営を導入する企業に対
				する実践的な支援を行う。さらに、過去
				「に支援を受けた企業や既に取組を進め」
				ている企業も巻き込みながら、参加企
				業間の交流・連携を促進を図ることで、
				単発的な導入支援にとどまらず、実践
				者・支援者・先進企業が相互に刺激し
				合い、地域全体でデザイン経営の定着
				と発展を支えるエコシステムの形成を
_				目指す。
中国	特許情報を活用し	一般社団法人広 	8240005007249	本事業では、特許庁が実施した「令和 6
	トスタートアップ	島県発明協会 		年度神戸市知財経営支援モデル地域
	等オープンイノベ			創出事業」をベースとし、先進的な技術
	ーション支援事業			シーズを有する地域のスタートアップ等
				に対して、連携ニーズのヒアリング、タ
				ーゲット企業の特許情報分析・ターゲッ
				トレポート作成及びアプローチ、連携提
				案書の作成及びマッチング支援等を行
				うことにより、スタートアップ等のオープ
				ンイノベーションを促進する。また、地域
				ステークホルダーと連携した支援や成
				果報告会等を通じて、地域連携体制を
				強化し、知的財産活用支援モデルの構
				築・定着を目指す。
	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	\times \( \times \) \( \times

四国 マーケティング× 加財の進化・深位 未来の"受疑モデル"へ 地域経済研究 センター					
************************************	四国	マーケティング×	株式会社いよぎ	6500001000447	本事業では、令和6年度実施の「マーケ
ル"へ な支援スキーム「未来の"受援モデル"」 の確立を目指す。地域ステークホルダーや専門家等に選携し、マーケティング 起点のテーマ設定から個別支援につな であって改定から個別支援につな が、成果の可視性にでそ行うことで、知 財活用文化の顧成と地域への定着、他 地域への展開につなげる。 本事業では、各中小企業等の固有の 経営資源を発掘する新たな支援策として「デザイン経営」に、著在的 な知の財産の 関連、活用支援を連 結させ、高知県内 の支援機関の連携による中小企業 等の知的財産の 関連、保護・活用 の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事 業  九州 「知財の民主化」 から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 へ出願体験 × Al 活用と各者連携に よる実践的知財 支援の構築へ と認の時後を通じた、海での接続を促す でいない地方中小企業の構造機関した。 対域の発として、対域の発として、対域の発送と気援機関間の連携性にも資する。 本事業では、「知財が経営に結びつい でいない地方中小企業の構造機関として 対域の発送した。 対域の発送、検証の体験・大学シーズとの 連携・生成 Al 活用によるアイデア整理 を通じて、知財地テシーを要離 し、知財と活用した自走成長を使す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		知財の進化・深化	ん地域経済研究		ティング×知財」による知財支援手法を
四国 デザイン経営支援 と知的財産の保護・活用支援を連携に、マーケティング 起点のテーマ設定から個別支援につな げ、成果の可視化までを行うことで、知 財活用文化の離成と地域への定着、他 地域への展開につなげる。		未来の"愛媛モデ	センター		さらに進化・深化させ、愛媛県発の新た
四国 デザイン経営支援 一般社団法人高 5490005001956		ル"へ			な支援スキーム「未来の"愛媛モデル"」
超高のテーマ設定から個別支援につなけ、成果の可視化までを行うことで、知財活用文化の醸成と地域への定着、他地域への展開につなげる。  一般社団法人高知県所は企場と連続され、高知県内の支援機関の連携による中小企業等の国内の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の保護・活用の統合的な支援策を構築する地域支援機関の連携による統合的知的財産支援機関の連携による統合的知的財産支援促進事業 による統合的知的財産を提促進事業  九州 「知財の民主化」から始まる、地域企業の知的成長戦略年デル事業へ出版中象と、地域企業の知的成長戦略年デル事業へ出版体験、本人活用×6者連携による実践的知財支援の構築へと提供を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を					の確立を目指す。地域ステークホルダ
四国 デザイン経営支援 と知的財産の保護・活用支援を連 結させ、高知県免明協会 5490005001956 本事業では、各中小企業等の固有のし 経営演派を発促する新たな支援を連 結させ、高知県内 の支援機関の連 携による中小企業等の知的財産の 創造・保護・活用 の統合的な支援 策を開発する。これにより、知的財産への意識の 簡成や関心を持つ事業者の裾野社の 創造を接近活着 日、 セミナーや ワークショップの開催を通じて、潜在的 な知的財産に対する意識の啓発とそれらを形式知化する意欲の喚起を促進する。これにより、知的財産への意識の 簡成や関心を持つ事業者の裾野社、潜在的な経営資源の可視化・形式知化による知的財産の創造を推進する。また、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める 機会を提供することにより、高知県免明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護と 接機関間の連携では、第日につなげる統合的な支援機関間の連携では、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県免明協会を中心に知的財産支援の企業と支援機関間の連携強化にも資する。 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を超して、知財ルテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を返して、知財・デシー・ズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を返して、知財・元が発言用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援					一や専門家等と連携し、マーケティング
四国   デザイン経営支援 と知的財産の保護・活用支援を連結させ、高知県発明協会   5490005001956   本事業では、各中小企業等の固有の 経営資源を発掘する新たな支援策として「デザイン経営」に活目し、セミナーや ワークショップの開催を通じて、潜在的 な知的財産に対する意識の啓発とそれ らを形式知化する意欲の喚起を促進する。これにより、知的財産への意識の 離途・保護・活用 の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事業   「知財の民主化」 から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 ~ 出願体験 × AI 活用×6 者連携による実践的知財 支援の構築~ とこの集態の解決を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通近て、知財リテラシーを覚配させる実践型プロジェクトとし、自己出願を超し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財加奈・知財を援					起点のテーマ設定から個別支援につな
世域への展開につなげる。 四国 デザイン経営支援 と知的財産の保護・活用支援を連結させ、高知県内の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の創造・経営資源を発掘する新たな支援策として「デザイン経営」に着目し、セミナーやワークショップの開催を通じて、潜在的な知的財産に対する意識の啓発とそれらを形式知化する意識の啓発とそれらを形式知化する意識の啓発とそれらを形式知化する意識の啓発とそれらを形式知化を持つ事業もの振野拡大、知的財産の創造を推進する。また、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める財産を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産の保護と支援機関の連携による統合的知的財産支援の企進と支援機関の連携による統合的知的財産を対しているが都会合のの選のを発送を推進する。また、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産の保護と支援機関の連携連化にも資する。本事業では、「知財が経営に結びついつが構築され、知助財産の促進と支援機関の連携強化にも資する。 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 は、日本により構造的解決を目指する。また、対別を活用した自走成を定すアプローチにより構造的解決を目指する。また、知財・大学シーズを変革し、知財を活用した自走成長を促すアプローチにより構造的解決を目指する。また、知野を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財が要・知財を援					げ、成果の可視化までを行うことで、知
四国 デザイン経営支援と知的財産の保護・活用支援を連結させ、高知県内の支援機関の連携による中小企業等の別方の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援策として「デザイン経営」に着目し、セミナーやワークショップの開催を通じて、潜在的な知的財産に対する意識の啓発とそれらを形式知化する意識の啓発とそれらを形式知化する意欲の喚起を促進する。これにより、知的財産の意識の顧成や関心を持つ事業者の裾野拡大療を構築する地域支援機関の連携による統合的知的財産支援促進事業 (による統合的知的財産支援促進事業 (による統合的知的財産支援促進事業 (による統合的知的財産支援の産産を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護と支援機関の連携等により、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護と支援機関の連携等化・地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護と支援機関の連携等化・地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県発明は会主を対象に、「知財の連携等化に、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアブローチにより構造的解決を目指す。 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用による字教理でより、対財・大学・アブローチに見を促す、表に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援					財活用文化の醸成と地域への定着、他
と知的財産の保護・活用支援を連結させ、高知県内の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援策する地域支援機関の連携による統合的知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援機関の連携による統合的知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援策する地域支援機関の連携による統合的知的財産の創造を推進事業を提供連事業を提供連事業を提供連事業を提供を表示して、対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援の保護と支援機関間の連携強化にも資する。大地域之業の知的成長戦略モデル事業へ出願体験×AI活用×6者連携による実践的知財支援の構築へを対し、大力により機造的解決を目指す。地域の売上30億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在リ方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財を援					地域への展開につなげる。
護・活用支援を連結させ、高知県内の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の力を選機関の連携による中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援 類を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的財産の創造を推進する。これにより、知的財産への意識の顧成や関心を持つ事業者の裾野拡大、潜在的な経営資源の可視化・形式知化による知的財産の創造を推進する。また、地域ステーク・カールグーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知用発的 機会を提供することにより、高知用発的の関係金を提供することにより、高知用発的の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。地域の売上30億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援	四国	デザイン経営支援	一般社団法人高	5490005001956	本事業では、各中小企業等の固有の
精させ、高知県内 の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の 創造・保護・活用 の統合的な支援策する地域支援機関の連携による統合的知的財産の 財産支援促進事業 の知的財産の 対産支援促進事業 を構築する地域支援機関の連携による統合的知的財産支援の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携を支援に進事業 による統合的知的財産支援のより、1年の対域を対域の企業の知的成長・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  九州 「知財の民主化」がら始まる、地域企業の知的成長戦略モデル事業や出願体験×AI活用×6者連携による実践的知財支援の報策や 支援の構築や 基礎の対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すする。と述し、表実践的知財支援の構築や 関係を表し、対対リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財を援		と知的財産の保	知県発明協会		経営資源を発掘する新たな支援策とし
の支援機関の連携による中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の統合的な支援策を構築する地域支援機関の連携による統合的知的財産の制造を指進する。また、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める機会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援機関間の連携され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  九州 「知財の民主化」がら始まる、地域企業の知的成長戦略モデル事業や出願体験×AI活用×6者連携による実践的知財支援の構築や に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在リ方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財を援		護・活用支援を連			て「デザイン経営」に着目し、セミナーや
携による中小企業 等の知的財産の 創造・保護・活用 の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による知的財産の創造を推進する。また、地域ステークホルダーに対して、デザイン経営視点への取り組みを始める 機会を提供することにより、高知県発明 協会を中心に知的財産支援の企業と支援機関間の連携され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在リ方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		結させ、高知県内			ワークショップの開催を通じて、潜在的
等の知的財産の 創造・保護・活用 の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事 業 九州 「知財の民主化」 から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 ~出願体験×AI 活用×6者連携による実践的知財 支援の構築~		の支援機関の連			な知的財産に対する意識の啓発とそれ
創造・保護・活用 の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事 業  九州 「知財の民主化」 から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 ~出願体験×AI 活用×6者連携に よる実践的知財 支援の構築~  「生の構築~  「大力・アプローチにより構造的解決を目指 方の、大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財が手法 を通じて、知財が手法 を通じて、知財が手法 を通じて、知財が手法 を通じて、知財が手法 を通じて、知財が手法 を表対象 に、特許出願の体験・大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援		携による中小企業			らを形式知化する意欲の喚起を促進す
の統合的な支援 策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事業 業 九州 「知財の民主化」 から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 ~出願体験×AI 活用×6者連携に よる実践的知財 支援の構築~		等の知的財産の			る。これにより、知的財産への意識の
策を構築する地域 支援機関の連携 による統合的知的 財産支援促進事業  本文学の知的成長 関の連携 による知的財産の別組みを始める 機会を提供することにより、高知県発明 協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 よる実践的知財 支援の構築~  地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		創造・保護・活用			醸成や関心を持つ事業者の裾野拡大、
支援機関の連携による統合的知的財産支援促進事業 協会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 はる実践的知財支援の構築~ 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財加支援		の統合的な支援			潜在的な経営資源の可視化・形式知化
による統合的知的 財産支援促進事業		策を構築する地域			による知的財産の創造を推進する。ま
財産支援促進事業 協会を提供することにより、高知県発明協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  九州 「知財の民主化」 延岡信用金庫 2350005002863 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 はる実践的知財支援の構築~ 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		支援機関の連携			た、地域ステークホルダーに対して、デ
業 協会を中心に知的財産支援のネットワークが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  九州 「知財の民主化」がら始まる、地域企業の知的成長戦略モデル事業や出願体験×AI活用×6者連携による実践的知財支援の構築や 「た、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		による統合的知的			ザイン経営視点への取り組みを始める
一クが構築され、知的財産の保護・活用につなげる統合的な支援の促進と支援機関間の連携強化にも資する。  九州 「知財の民主化」 延岡信用金庫 2350005002863 本事業では、「知財が経営に結びついていない地方中小企業の構造課題」という課題に対し、出願体験を通じた自分ごと化と、支援施策への接続を促すアプローチにより構造的解決を目指す。 よる実践的知財支援の構築~ 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		財産支援促進事			機会を提供することにより、高知県発明
カ州 「知財の民主化」 がら始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 ~ 出願体験×AI 活用×6者連携による実践的知財 支援の構築~ に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		業			協会を中心に知的財産支援のネットワ
接機関間の連携強化にも資する。   接機関間の連携強化にも資する。   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大					一クが構築され、知的財産の保護・活
九州 「知財の民主化」から始まる、地域企業の知的成長戦略モデル事業へ出願体験×AI活用×6者連携による実践的知財支援の構築~ 「大学の大学シーズとの連携・生成 AI活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援					用につなげる統合的な支援の促進と支
から始まる、地域 企業の知的成長 戦略モデル事業 〜出願体験×AI 活用×6者連携に よる実践的知財 支援の構築~  「大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援					援機関間の連携強化にも資する。
企業の知的成長 戦略モデル事業 ~出願体験×AI 活用×6者連携に よる実践的知財 支援の構築~ 地域の売上 30 億円未満企業を対象 に、特許出願の体験・大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援	九州	「知財の民主化」	延岡信用金庫	2350005002863	本事業では、「知財が経営に結びつい
戦略モデル事業 〜出願体験×AI 活用×6者連携に よる実践的知財 支援の構築〜  に、特許出願の体験・大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援		から始まる、地域			ていない地方中小企業の構造課題」と
~出願体験×AI 活用×6 者連携による実践的知財支援の構築~ 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		企業の知的成長			いう課題に対し、出願体験を通じた自
活用×6者連携による実践的知財支援の構築~ 地域の売上 30 億円未満企業を対象に、特許出願の体験・大学シーズとの連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		戦略モデル事業			分ごと化と、支援施策への接続を促す
よる実践的知財 支援の構築~ ・ 、特許出願の体験・大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援		~出願体験×AI			アプローチにより構造的解決を目指
支援の構築~ に、特許出願の体験・大学シーズとの 連携・生成 AI 活用によるアイデア整理 を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援		活用×6者連携に			す。
連携・生成 AI 活用によるアイデア整理を通じて、知財リテラシーを覚醒させる実践型プロジェクトとし、自己出願を起点に、思考・記録・検証の在り方を変革し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援		よる実践的知財			地域の売上 30 億円未満企業を対象
を通じて、知財リテラシーを覚醒させる 実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援		支援の構築~			に、特許出願の体験・大学シーズとの
実践型プロジェクトとし、自己出願を起 点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援					連携・生成 AI 活用によるアイデア整理
点に、思考・記録・検証の在り方を変革 し、知財を活用した自走成長を促す。ま た、出願を通して、知財施策・知財支援					を通じて、知財リテラシーを覚醒させる
し、知財を活用した自走成長を促す。また、出願を通して、知財施策・知財支援					実践型プロジェクトとし、自己出願を起
た、出願を通して、知財施策・知財支援					点に、思考・記録・検証の在り方を変革
					し、知財を活用した自走成長を促す。ま
機関と接続し、知財施策普及に努め					た、出願を通して、知財施策・知財支援
,					機関と接続し、知財施策普及に努め

				<b>る</b> 。
九州	大学の知的財産	公益財団法人北	3290805008207	本事業では、生成 AI とデザインの力を
	と生成 AI を組み	九州産業学術推		活用し、大学保有特許をビジネスアイ
	合わせた地域の	進機構		デアへと変換・可視化するプラットフォ
	価値創造エコシス			ームを導入することにより、課題を解決
	テムの構築			し、発展させる。また、成果発表イベント
				を開催し、評価とフィードバックを通じて
				次のアクションへ繋げるとともに、取り
				組みの効果と課題を検証することで、
				従来のライセンスマッチングでは届かな
				かった企業層へ知財を"届ける"ことが
				可能となる。さらに、この取り組みを通
				じて、学生が実践的にビジネス創出プ
				ロセスに参加することにより、アントレプ
				レナーシップ教育と実践が融合した環
				境を実現し、永続的につながるエコシス
				テムを構築する。
沖縄	沖縄型デザイン共	一般社団法人デ	8360005006759	本事業では、沖縄に根ざした共創型の
	創モデル事業~	ザインイノベーシ		地域デザイン力を育成し、課題解決と
	台湾との協働によ	ョンおきなわ		価値創出の仕組みを構築し、本事業を
	る地域デザインカ			通じて、地域における知財活用の基礎
	の育成と展開~			的理解と普及を促進する。
				本年度は、台湾の先進的な実践を学
				び、その内容を成果報告会を通じて県
				内に広く共有し、地域内リサーチや関
				係者との対話を通じて、次年度の共創
				プロジェクトに向けた設計基盤を整え
				<b>.</b> .

<この記事に関するお問い合わせ> 特許庁総務部 普及支援課 地域調整班

電話:03-3581-1101 (内線 2107)